

# 警城時報

行發日六  
印刷所 警城時報社  
印刷人 岡田 弘成  
印刷部 岡田 弘成  
發行所 警城時報社  
一、郵金貳圓、一ヶ月金貳拾  
廣告料一、行十四字、日五、廿  
日刊日曜祝祭日翌日休刊

## 石城郡下の徴兵検査

### 八月二日から各町村の日割決る

石城郡下の本年度壯丁検査は八月二日から執行されるが、その日割は左の如くきまつた

- △八月二日 小名濱町、大浦村
- △八月三日 澤渡村組合、湯本町
- △八月四日 川前村、好間村△五日 鹿島村、内郷村△六日 警備村
- △八月七日 大野村、向本年度の壯丁数は千八百八十

下小川村組合、四倉町△八日 人である

永戸村組合、豊間村、赤井村

## 四倉春繭市場

### 十五日開場と決定

地方の養蠶家が希望の四倉繭市場ならびに点呼會市町村長は、来る十五日開場することに合同主催で新米旅館に隣接以下場は来る十五日開場することに合同主催で新米旅館に隣接以下場は来る十五日開場することに合同主催で新米旅館に隣接以下

## 標「譽の家」

### 戦病死の家庭へ 四倉郷軍で贈る

四倉在郷軍人分會では今次事變に出征して名譽の戦病死をとげた勇士の家に對し「譽の家」と印した標札を贈ることになつた

## 小名濱の軍艦歓迎

来る十二日、豊地調製法に基づく農地調整委を期するものである

▲平市 菅沼隆太郎、猪橋久太郎、山崎三郎、木田勇治、藤田竹松、鈴木金一、矢吹初彌、鈴木庄作、藤谷藤太郎

▲鹿島村 志賀直哉、鈴木一男、赤坂裕、志賀久馬、新妻一行、高秋一、佐藤米治、

## 農地調整委員任命

### 銃後の耕地安定を計る

銃後の耕地安定を計るもののである

▲平市 菅沼隆太郎、猪橋久太郎、山崎三郎、木田勇治、藤田竹松、鈴木金一、矢吹初彌、鈴木庄作、藤谷藤太郎

▲鹿島村 志賀直哉、鈴木一男、赤坂裕、志賀久馬、新妻一行、高秋一、佐藤米治、

## 泉村役場新築

### 泉村では工費五千五百圓で役場

泉村では工費五千五百圓で役場を新築することになり去月入り給費百數十圓を徴収し、十一日着工、今月末に竣工する

## 害虫駆除

### 高久村では年々害虫による苗代被害が多い

高久村では年々害虫による苗代被害が多いので、六日小学校児童を動員し村内の害虫駆除を行つた

## 鉛管を盗む

### 植田町植田物産會社雇人茨城縣生れ鈴木彌助(三七)は昨年八月から十數回

植田町植田物産會社雇人茨城縣生れ鈴木彌助(三七)は昨年八月から十數回、泉村に亘り鉛管百數十圓を窃取し、十一日着工、今月末に竣工する

## 山野邊藥局

目丁五市平

胡鼠泥 内郷村警備坑夫 宮城縣黒川郡吉岡町生れ山口勘三郎(三七)は去月初旬から數回、好間村古河炭礦採炭夫吉岡新之助(三三)は四日夜第二斜坑内で圓を盗み、又同じく茨城縣生れ作業者落盤で死亡

## 四倉の戸數割町會

### あす午前九時から招集

四倉町では七日午前九時から町會を開き、十四年度特別税戸數割を賦課額二萬六千四百七十七圓ならびに左記諸件を附議

十四年度賦課前期海産物課税賦課額決定、臨時出納検査立會人選定、公用地調査委員推薦、山野整理委員推薦、土木調査委員推薦、上水道委員推薦、臨時海産物課税委員推薦、寄附金採納

## 江ノ島を巡る

### 藤田校修學旅行團

夜來の嵐は名残なく晴れて江ノ島の洋上は一点の雲なし、東海の日につくきりと純立した富士の嶺峯!

文章に物し、影管に續かれたそれよりも、もつと雄大な雄姿の探訪は危険をおもはばかつて断念した。宿に歸つて

## 北支鐵道踏査記(一)

### 花澤輝

市内白銀町元平機關區勤務花澤輝一君は目下北支鐵道會社自動車部技術課にあるが此程本社に「北支鐵道踏査報告書」を寄せて来た、北支に於ける鐵道の状態を知り好参考資料と思ふので連載することとした

北支が如何なる状態に置かれ現在如何なる状態にあるかをその一指指たる鐵道の分野に於て、極めて概括的ではあるが觀察しその恢復の過程を申上りて内地の諸君への御参考に成すべく、北支の幸甚の幸甚に存じます。

○……………○

一般に北支鐵道とは京漢、津浦各線の北支部分、京山、京包、同蒲、正太、膠濟、隴海各線を指すものである。これらの諸鐵道は總て清末民初の間外債によつて敷設或は計劃されたものであるが、第一革命以來國內に軍閥の私闘相繼ぎ、これが爲借款は軍費に流用され、建設中止となつたものもあり、各軍閥の割據管理に歸したため營業收入の殆ど全部が軍費と化したものもあるといふ亂脈ぶり、爲に修理建設の如きは全く放棄されたものである。民國十七年(註本年は民國二十八年)國民政府の成立により、この状態は漸次改善されるに至つたが多額の外債を償却しなればならぬこと、重工業が發達してゐないため、北支鐵道の軍事

## 用應氣電力強 効特に痛經神

今晩は南東の風海曇明日は南東の風晴時々しゅう雨模様

▲出生 村木町三六岡島正茂さん二女千加子

▲死 一丁目吉田政吉さん(六〇) 南町新坂常子さん(二七) 仲間町西山藤さん(二四) 白銀町青木キクさん(三三)

▲天気豫報

## 平市人事録

○出生 村木町三六岡島正茂さん二女千加子

▲死 一丁目吉田政吉さん(六〇) 南町新坂常子さん(二七) 仲間町西山藤さん(二四) 白銀町青木キクさん(三三)

▲天気豫報



強いばかりが武士でない

某旗亭の女将を感激せしめた、昨紙本欄紹介の感心な青年警官は、調査の結果最近南町区内へ閉置に成つた狗地利君と判つた。

南町附近に蟻居する小料理屋の酌婦は、概してふしだらな生活をしてゐるため、彼女等に對する警官の眼は、恰も汚い物に觸るが如く蔑視するの傾向にあり、これが爲彼女等は反動的な自暴自棄に陥り遂には救ふべからざる深淵へ沈める例も尠くない。

然し狗地利君は巡回毎に接する彼女等に對し、常に温情を以つて當り、一君達は何時までもこんな職業を続ける譯でなく、求むる必ず家庭に入つて主婦にならざるのだから平常の心がけが大切だ、主人に使はれてゐても自分の家だと思つて住居は清潔に掃除し、宜直に勤め、眞面目な習慣をつけよう、又家庭には親兄妹があるだらうから貯蓄に心がけて万一の場合に備へ一日も早く身を軽くすることである。

と妹に對する如く憐々と説くことを自らの勤めのやうにしてゐるとのことである、これがため彼女等の風紀も矯正されつつあることを心から喜ぶ。

強いばかりが武士でない、と云ふ言葉がある、凡てを法律と云ふ威權を以てすれば、民衆をして畏怖せしむる結果ともなり、決して「總親和」の成果を収めるものではない、反對に温情と理解を以て事に當れば、民衆は畏敬の念を抱

野澤武藏

き、期せずして、官民總和の實績を挙げ、警察行政事務の円滑な進展を見る事が出来るのである。吾人も青年警官狗地利君に教へられるところ非常に多かつたことを多とし、同君の健康を切に祈るものである。

新文具御案内

マルトモ書店入荷品 書類保存用 タッチフワ井ル 85

本品の特長 穴も穿けず紙も使はず完全な書類保存用から大切な書類に疵が付きませぬ。 2. 操作が簡単で一枚でも、澤山の書類でも正しく同様の力で書類でも正しく同様の力で書類保存の王座、タッチフワ井ルを是非御使用願ひます。きつと御満足を得る存じます。

萬邦ペン

國産の最高傑作 事務用ペン先として之れ以上のものは他にありません。書き味はハイミンシガムの本場品に勝るとも劣らず。 文藝春秋、中央公論、其他の一流雑誌に毎號廣告、信用絶大です。

御料理

出前迅速 むぎとろ さつさ 平市紅小路電四八八

魚清自慢の... みつ豆 始めました 其他色々美味しい飲みものも御座います。 出前迅速 平三善堂 魚清食堂 電話六三三番

移轉廣告 今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候 昭和十四年四月 平市南町十四番地 (警察署通り角) (舊診療所 平市六丁目) 木村外科醫院 電話三〇九番

木村外科醫院 内科 胃腸病科 花柳病科 泌尿器病科 皮膚病科 肛門病科 性病科 内臓外科 性病科 肛門病科 門專 院醫科腸胃性村松 (番七〇一電) 町南市平 療

鑄物の代用品生る セメント製マンホール 金貳圓各種 同 風窓 綱 金四圓各種 平市南町二〇 野内商會 電話一一番 燒土管 在庫豊富

平病院 院長 醫學博士 鈴木 木定藏 副院長 鈴木 木定藏 內科・小兒科 副院長 土井利明 物理的療法科 副院長 高橋俊幸 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸 藥劑科 部長 吉本孝平 診療時間 午前八時ヨリ午後九時迄 (急患ハ此ノ限リニテアラズ) 往診隨時 病室完備 (自炊ノ便アリ)

高久病院 院長 高久 忠 副院長 赤羽 清 藥局長 佐竹 菊雄 外科花柳病科 内科小兒科 耳鼻咽喉科 平市田町 (電話五二三番)

吉田眼科醫院 平市紺屋町 (電話六八番)

住宅地分讓 都心に近き保健境 平第三小學校 東北方約二萬坪 大小各口の御相談に應ず 金より物の時代 土地は最も安全 御希望の方は市内田町一九連沼方 電話七八七番へお問合せ下さい

尙武日本に 男兒の譽を飾る 武者人形や御座敷職陣道具布鯉類を豊富に取揃へました ござを御ひきを願ひます 金太郎玩具店 平市三丁目

産婦人科 院長 木村寅次郎 外科 醫學博士 内木宗八 藥劑師 大岩俊雄 平市新川町 (電話二六四番) 木村病院 入院隨意 病室完備

四倉の名産!!! 新鮮な魚貝の罐詰 御土産に御進物に 優美な化粧箱詰を 是非御用命.....を 四倉町 佐藤仲商店 電話四十一番